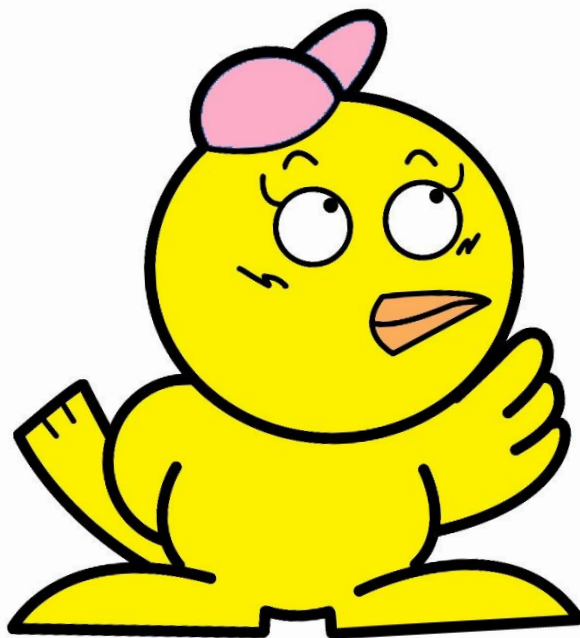


(6)文化活動



(6)文化活動

内容	自然を体験しながら、文化体験活動を行います。専門家の話を聞くことで、本物に触れるアクティビティもあります。
アクティビティ	①俳句イングリッシュハイキング ②熊撃ちの話（講師必須） ③星空観察 ④防災教育プログラム（講師必須）
期待される教育効果	・ 思考力・表現力（考えたり感じたりしたことを伝える） ・ 感動体験 ・ 先人の知恵を学ぶ
服装 （外の活動の場合）	□履きなれた靴 □帽子 □手袋 □長ズボン □着脱しやすい上着（体温調節のため）
展開例	【事前】 ・ プログラムを選択します。 ・ 講師が必要な場合、「研修指導員派遣依頼書」を提出します。 【当日】 ・ 安全とマナーに気を付けて実施します。 【事後】 ・ 考えたことや、感じたことを、作文や話し合いにより伝え合います。



(6) ①俳句イング・ハイキング

概要	なすかしのフィールドを散策しながら、季節の移り変わりや四季折々の自然を感じ取り、感じたことを俳句にして表現します。俳句づくりを通して、日本の伝統文化を学ぶことができます。			
ねらい	・ 自然を注意深く観察することで、季節の移り変わりを発見する力を育みます。 ・ 俳句づくりを通して、日本の伝統文化に対する理解を深めます。 ・ 自分で感じたことを俳句で表現する力を育みます。			
条件	対象	小学生～	人数	100名程度
	時期	5月～10月	実施の判断	雨天や強風時は中止
準備物	自然の家	団体		個人
	☐ ハイキングコースの地図	☐ 救急セット ☐ 短冊 ☐ マジック		☐ 長袖、長ズボン ☐ 帽子 ☐ 軍手 ☐ 筆記用具、メモ用紙
活動の流れ (1～2時間)	【準備】 ・ 実地踏査をして、ルート、所要時間、危険箇所等を確認し、団体引率者間で共有をします。 ・ 団体引率者間での役割分担や参加者への事前指導の徹底をします。 ※必要に応じて資料を事前にHPから人数分印刷します。 【活動】 ・ 団体引率者が俳句イング・ハイキングの資料をもとに活動概要を説明します。 ・ 自然を体感する五感（視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚）について確認します。 ・ 俳句と季語について説明します。 ・ ハイキングを開始します。 ・ 感じたことをもとに俳句を作ります。 ・ 俳句を発表し合います。 【実施後】 ・ 靴の汚れを落とします。 ・ 貸出物品を事務室へ返却します。			
安全管理 留意事項	・ 触覚と味覚については、危険な植物（ツタウルシ等）もあるので注意が必要です。 ・ 自然を五感で感じ、俳句づくりを通して表現することが目的なので、字足らず、字余り、季語無し、自由律俳句でもOKとします。 ・ 国語の学習として実施することも可能、自然の家では学習指導案を作成しています。			

(6) ②熊撃ちの話

概要	那須甲子地域で活躍されている猟師の方から、実際に熊撃ち体験などの狩猟についてのお話や、熊の生態や山の四季についてのお話を伺います。 猟銃などの狩猟のための道具や、本物の熊の毛皮なども実際に見たり、触ったりすることもでき、とても興味深い時間となることでしょう。登山などの注意事項などについての話もあり、丁寧に質問にも答えていただけます。			
ねらい	・熊の生態や、山の魅力について知ることができます。 ・猟師というプロの話を聞くことで、生き方を学ぶことができます。 ・自然や動物との共生について考えることができます。			
条件	対象	小学生～	人数	100名程度
	時期	通年 (原則夜のプログラム)	実施の判断	—
準備物	自然の家		団体	個人
	☐ ホワイトボード		☐ 研修指導員派遣依頼書 ☐ 講師料 5,000円 (他料金と一緒に清算)	☐ メモ帳 (あると便利)
活動の流れ (1時間程度)	【準備】 ・「研修指導員派遣依頼書」を提出します。 ・実施可能が決定したら、講師へ電話連絡をします。 ・活動部屋の確認をします。 【活動】 ・10分ほど前に事務室で講師と合流します。 ・熊の毛皮などの荷物を持っていきます。(児童3名程度) ・挨拶をして、話を聞きます。 ・質疑応答後、活動終了です。 【実施後】 ・講師とともに、事務室へ荷物を持っていきます。(児童3名程度) ・シーツ等洗濯料とともに、講師料の請求を受けます。			
安全管理 留意事項	・専任講師は1名なので、希望に応えられない場合があります。 ・原則、雨天時のみ実施は不可能です。 ・原則、夜のプログラムとなっているので、昼間の希望はできません。 ・猟銃や、熊の毛皮など大きなものがあるので、怪我や破損に注意してください。			



(6) ③星空観察

概要	夜のなすかしの森は街の明かりが届かず、天気良ければ天然のプラネタリウムのように満天の星空を眺めることができます。場所によっては、本館の明かりが届かずに完全な暗闇を楽しむこともできます。 また、天体望遠鏡や星座早見盤を使って星座観察をしたり、講師（有料）を依頼して、高性能な天体望遠鏡や興味深い天体の話を聞いたりすることができます。 場所によっては、夜景を眺めることもできます。			
ねらい	・四季折々の星座などを観察し、星座に対する関心を高めます。 ・宇宙の広大さなどを実感するとともに、豊かな自然を感じる心を育てます。 ・暗闇を感じることで、五感を研ぎ澄ます力を身に付けます。			
条件	対象	小学生～	人数	100名程度
	時期	通年 (積雪時は場所を限定。)	実施の判断	雨天や強風時は中止
準備物	自然の家		団体	個人
	☐ 天体望遠鏡 ☐ 星座早見盤 ☐ 熊鈴 ☐ 無線機		☐ 救急セット	☐ 懐中電灯
活動の流れ (1～2時間) (冬季なら 30分程度)	【準備】 ・実地踏査をして場所を確認します。 つどいの広場・営火場A・営火場B・営火場D ・季節ごとに見える星空を調べておきます。 ・講師依頼の場合は、「研修指導員派遣依頼書」を提出します。 ・実施可能が決定したら、講師へ電話連絡をします。(荒天時の活動も確認。) 【活動】 ・懐中電灯持参し、ピロティに集合します。 ・暗闇を歩くことについてのセーフティークをします。 ・観察場所へ移動します。 ・観察開始します。(講師依頼の場合は、講師の話を聞きます。) 【実施後】 ・貸出物品を事務室へ返却します。 ・講師依頼の場合は、シート等洗濯料とともに、講師料の請求を受けます。			
安全管理 留意事項	・暗闇を歩くことになるので、懐中電灯を必ず持参してください。 ・実施前後、実施中に数回、人数の確認をしてください。 ・積雪時は、長靴の貸し出しもあります。 ・講師依頼の際の荒天時は、スライドショーを見ることができます。			